



## 中庭展示 -Court installation- Vol.10

2017年9月9日(土) - 2018年3月11日(日)

休館日：月曜日 ※ただし、9月18日・10月9日・1月8日、2月12日は閉館し、翌日が休館日

開館時間：9:30-17:00 (入場は 16:30 まで)

観覧料：

・特別展会期中 | 一般 600 (500) 円 / 高大生 400 (300) 円 / 中学生以下無料

・特別展会期以外 | 一般 300 (240) 円 / 高大生 200 (140) 円 / 中学生以下無料

※( )内は 10名以上の団体料金。

※施設変更がありますのでお問い合わせください。

※特別展会期中は、館内観覧券でもご覧いただけます。

※11月3日(金・祝)は、無料でご観覧いただけます。

苫小牧市美術博物館

〒053-0001 北海道苫小牧市北町字下町9-7 (駅名: A.A-1)

Tel:014-35-2550 / Fax:014-31-0100

http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hokkaidoart

中庭展示 - Court installation - Vol.10

冬の始まり  
The Beginning of Winter

前田育子  
Ikuko Maeda

北海道の匂い  
大地の匂い  
命を感じる

「中庭展示 - Court installation -」は、当館の中庭スペースにおいて、その空間を活用した作品を紹介するシリーズ企画です。第10回目となる今回は、陶芸家・前田育子の黒陶の組み合わせによるインスタレーションを紹介しします。

北海道の大きな特色といえる厳寒な「冬」。そうした「冬の始まり」を主題とする今回のインスタレーションは、白銀の世界にそびえ立つ黒い土肌のイメージがその根底にあります。「始まり」があれば「終わり」があるように、森羅万象において表裏一体を成す両者を意識した本作は、中庭空間に設置された作品が長い「冬」の季節を通過することで生じる「変化」も、作品の一部として内包されています。吹き抜ける空間において長期間、風雪に耐え続けることにより、果たしてどのような「変化」が生まれ、作品として結実していくのか、その移ろいゆく姿情にもご注目いただければ幸いです。

前田育子（まえだ・いくこ）プロフィール

北海道白老町生まれ。白老町在住。1996年スペイン留学を経て、97年から98年にかけて北海道工業試験場新機分場にて研修。99年本州から沖縄にかけて密着地を旅し、質感と土色の異なる陶の組み合わせによる工芸品をはじめ、もみ殻の繊維を利用した黒陶のマットな質感を活かしたオブジェを制作しており、近年はそのパーツの組み合わせによる作品にも従っている。



同時開催

2017年9月9日〔土〕—11月12日〔日〕

特別展「柳原良平の海・船・港」/ミニ企画展「昔の道具〜火と人々の暮らし」

2017年11月23日〔水・祝〕—2018年1月21日〔日〕

企画展「雷鳥・四季を纏う神の鳥—高橋広平写真展—」

2018年2月3日〔土〕—1年3月11日〔日〕

収蔵品展「苫小牧市美術館所蔵名品選」（仮称）

アクセス ●バス 苫小牧駅前より、のりば⑩から [24番] [50番] [札幌線南行] [郊外線] の119⑩から [21番] のりば⑩から [12番] [14番] へ乗り、「出光カルチャーパーク」で下車（所要時間約5分、料金は210円）下車後徒歩約5分 ●自家用車 国道276号線（支笏湖道）と国道36号線の交差点（苫小牧之輪金剛中野交差点）を港方向へ進み、交差点の次の信号を右折。出光カルチャーパーク内に駐車場（料金は無料、約70台駐車可）があります。



苫小牧市美術館

〒063-0011 北海道苫小牧市東沢3丁目9-7（乗車・歩行者）  
Tel:0114-35-2550 / Fax:0114-34-0605  
http://www.city.soma.akita.jp/hakutoikan